

陸上競技大会における写真・ビデオ撮影について

陸上競技大会において目的を逸脱した写真・動画などの撮影が行われ、雑誌やインターネットその他の媒体に掲載されている事態が発生しています。

アスリートを盗撮被害から守るため、撮影に関する一定のルールを設定するとともに、大会参加校をはじめ、大会関係者すべての皆様にご協力を要請いたします。

【撮影できる人】

- 1 大会事務局より許可された来賓、報道関係者等（要申請）・・・ビブス、I D等着用
- 2 大会事務局より許可された調査研究に関わる者（要申請）・・・ビブス、I D等着用
- 3 大会事務局より許可された大会役員・・・大会役員 I D等着用
- 4 **大会参加校の関係者（職員、卒業生、選手家族等）（要申請）・・・I D着用**

※大会参加校は、大会事務局から配布する『撮影許可証』を首掛け式I Dケードに入れ、撮影申請者に配布する。（参加校名を記入すること）

【撮影に関する注意事項】

- 1 撮影はすべて、スタンドより行ってください。
- 2 競技中のフラッシュを使用しての撮影はご遠慮ください。
- 3 三脚を使用しての撮影は、まわりの皆様のご迷惑にならないようにしてください。
- 4 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある全ての方向からの撮影・行動を禁止します。以下は、警戒を強める撮影方向の一例です。
 - ①トラック種目のスタート時 … 前方・後方からの撮影
 - ②走高跳 … 正面からの撮影
 - ③砲丸投 … 競技者正面からの撮影
 - ④走幅跳、三段跳 … 砂場正面からの撮影
- 5 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われる場合には、大会役員および競技役員が撮影内容の確認をさせていただく場合があります。
- 6 盗撮行為を発見された場合、お近くの大会役員また競技役員までお知らせください。
また、発見次第、記録媒体没収の上、所轄警察署に通報します。
- 7 競技運営上、撮影禁止エリアを設ける場合があります。
- 8 その他、上記の内容を含め、変更する場合がありますので、その際は大会役員および競技役員の指示に従ってください。